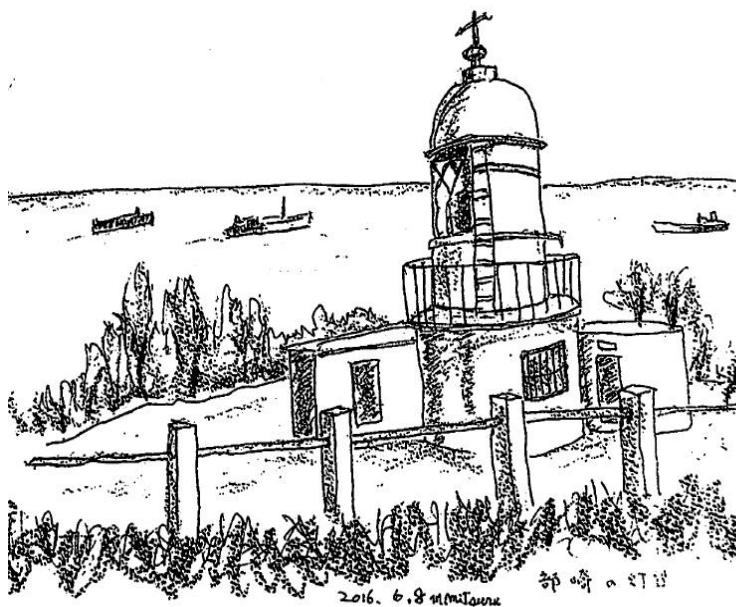


週報2021年2月7日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書43章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276

<http://jesus.holy.jp/>



礼拝順序 2021年2月7日

司会・奏楽・メッセージ 山崎銀次郎牧師

開会の祈り

使徒信条・標語聖句唱和

賛美「主イエスの十字架の血で」

今までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！

お祈り

聖書朗読 創世記 22章 7-18節

説教題「備えられていたささげ物」

応答の祈り

終祷「祝福の祈り」

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

創世記 22 章 7-18 節 「備えられていたささげ物」

①導入（全焼のささげ物）

創世記 8 章によると、洪水の後、箱舟から降りたノアが最初に取った行動は、祭壇を築き「全焼のささげ物」（※新改訳 2017 訳）を献げる事でした。ちなみにこのノアが聖書で初めて「全焼のささげ物」を献げた人です。時を経て、アブラハムも「全焼のささげ物」を献げました。「イサクを献げなさい」と言う神の試練を乗り越えて、祭壇を築き、神が備えて下さったささげ物（羊）を献げました。この「全焼のささげ物」をささげた 2 人の共通点は“全き献身を表した信仰の人”という事です。つまり彼らは「わたしは神の恵によって生かされている」「わたしは神様の計画に生きる」という信仰告白を献げ物を通じて表したのです。今日私達が学ぶべき事は、“神が備えて下さる、ささげ物によって、私達の献身は完成する”という事です。

②本論（所有物ではなく神の賜物）

信仰の父と呼ばれているアブラハムですが、実際の所、何度も失敗しています。サラを妹と偽ったり、女奴隸ハガルとの間に子供を設けたりしています。アブラハムのそのような行動の後、必ず災いが彼と彼の家族の内に降りかかります。聖書は彼が自己保身の為に嘘をついたとか、権力に流された因果応報を教えているのではありません。“いつも備えていて下さる神の恵から離れた結果”を教えているのです。アブラハムは幾多の“導き”を経て、“神の約束は決して変わらない”という事を学びます。

今回の箇所はそのクライマックスにあたる所です。今日の箇所の一番のポイントは神様の言葉「あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないでわたしにささげた。」です。アブラハムは神の備えを信じ、神の計画に生きる事、つまり献身を表明しました。そして自分の子、イサクを神の前に明け渡しました。そして彼が信じた通り、神の備えて下

さった「全焼のささげ物（羊）」が見えるようになり（ここもポイントです）、それを神の前に献げました。

人間の持つ、肉の性質に“自分の所有物に執着する”というものがあります。自分自信の弱さ、その事で抱えた心の痛みや傷、そして心の闇をそれで埋めようとします。しかし聖書の教えによると“自分の所有物”という物は存在しません。すべて神の恵みによって賜ったものです。私達は神が備えて下さったイエス・キリストによってその事（神の恵みによって生かされている）を知り、新しくされた心によって礼拝する事を学びます。私達が今日この箇所で教えられている事は、神の前に自分の所有物を明け渡す事です。その時、神の恵みを又一段と深く知る事が出来ます。

③結論（神の備え）

信仰者の信仰が試されるのは（※創世記 22 章 1 節参照）祈りが聞かれた後です。人の持つ弱さとして、神の恵みに対して不誠実な態度を取ってしまいます。つまり神の計画よりも、自分の計画を誇りとし、自分の達成感や所有物にしてしまうのです。でも、人のそんな失敗に対して神様はいつも備えを用意して下さいます。人の弱さを知り、痛みを知り、本当の心を知っておられる主はイエス様に会う道を様々な出来事を通じて用意されています。本当の魂の渴きに従って私達がイエス様を追い求める時、イエス様に会います。十字架にささげられたイエス様による愛と赦しと慰めを体験します。その時人は、心から従順にイエス様に従い、イエス様と共に歩く道を選ぶ事が出来るようになります。今年の信仰指標は“イエス様と共に歩く”です。イエス様と共に歩く人生を選び取りましょう。

